

文部科学省

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム 平成22年 8月25日 (第26号)

「教員養成コンソーシアム四国」情報

# コンソーシアム

徳島文理大学

「教員養成コンソーシアム四国」事務局

## 教職ポートフォリオ研修会が開催されました

8月7日(土)、高松大学で上越教育大学大学院教授 釜田 聡先生をお迎えして、「**教職ポートフォリオ研修会**」が開催されました。

今回の「教職ポートフォリオ研修会」では、「**教職キャリア教育による実践的指導力の育成**」という演題で、上越教育大学で展開されている教職キャリア教育の実際について、上越教育大学の**教師教育での「教育の質保証」**の取り組みをお話いただきました。

上越教育大学では、国内外の現地調査や地域の学校の意見を取り入れ「**上越教育大学スタンダード**」を作成して、**教員として身につけるべき資質能力を明示し、教職科目の到達目標に反映しています。**また、教育実習の指標として「**教育実習ルーブリック**」を作成して、**実習に向けての目標の設定や評価に生かしています。**

上越教育大学では、**初年次教育から最終学年の「教職実践演習」による確認まで、計画的に教職キャリア教育に取り組んでいます。**初年次教育では、人間教育学セミナー(教職の意義)、体験活動(必修)、ボランティア活動(選択・準必修)、学びの広場(学生の自主活動)、教育実地研究Ⅰ(附属中学校、へき地小規模校、特別支援学校)に取り組めます。2年次では、教育実地研究Ⅱが実施され、教育実習の力量チェックが行われます。3年次では分離方式初等教育実習、事前事後指導が行われ、4年次では中等教育実習、事前事後指導と教職実践演習(通年)により教職に関する力量の確認・補充が行われます。このような、各学年にわたる計画的な教職キャリア教育において、**学生が自己確認を繰り返しながら主体的に学ぶことができるように、上越教育大学では「教職キャリアファイル」を活用しています。**



上越教育大学で活用されている「教職キャリアファイル」は、初年次教育から4年次終了までの各ステージで、「**教職に対する適性について自己確認をする。多様な学びを集約・整理する。教職にかかわる自己課題を更新・実践・評価・改善する。**」ことを目的に活用されています。「教職キャリアファイル」を有効に機能させ、教員をめざす学生の教職キャリアの向上を図るために、「**教職キャリアファイル**」を使いこなすための**コーチングや教職キャリアガイダンス(個別面談)**での**教職員の関わりが重要な課題**とされています。教職キャリア教育の取り組みと「教職キャリアファイル」の活用についての研修は、教員養成コンソーシアム四国のこれからの取り組みにとってたいへん参考になりました。



「教員養成コンソーシアム四国」では、昨年度実施した「ポートフォリオ研修会」で愛媛大学 秦 敬治先生からご指導いただいた事柄と、上越教育大学への視察研修でご指導いただいた「教職キャリアファイル」をもとに、「教職ポートフォリオ」を作成し、教員をめざす学生を対象に、3大学で連携して活用することを計画しています。

今後さらに研修を重ね、実践的指導力の育成をめざして「**教職ポートフォリオ**」の**有効な活用と教職科目の改善に対する取り組み**を進めていく必要があります。

徳島文理大学「教員養成コンソーシアム四国」事務局

TEL 088-602-8048

E-mail kyouin-consortium@tks.bunri-u.ac.jp

E-mail consortium@tks.bunri-u.ac.jp